

観察の眼

「甲山森林公園」観察会

観察日； 平成30年3月23日（金）

記録 3班 山下 勝弘



甲山

標高309.4m

公園面積83ha



甲山安山岩と捕獲岩

約7500万年前の活発な火山活動期に大量のマグマで六甲山地の大分部に「花崗岩」ができ、約1200万年前に花崗岩のすき間よりマグマが表面に流れ出て安山岩となり、甲山の原型となった。「捕獲石」はマグマが上昇する時、時として花崗岩が巻き込まれた岩石で捕獲岩と呼んでいる。

徳川幕府再建の大阪城石垣採石跡遺跡

六甲山の東麓一帯は良質な花崗岩の産地で、甲山公園内の仏性ヶ原から展望台にかけて「矢」で長方形に割られた石材が点在している。石材の刻印で肥前（佐賀県）鍋島家の採石場であったことが分る。



三大美芽の内の二種、ネジキ（ツツジ科）の一年枝とザイフリボク（バラ科）の冬芽から展葉、コクサギは見つからず。



ハコネウツギ（スイカズラ科）
展葉、下方に芽鱗が付いている



サンシュユ（ミズキ科）
短枝の先に黄色の散形花序が鮮やか



ソメイヨシノ（バラ科）の花芽が大きく膨らむ
大阪の開花3月20日より1日前18日の状況



→

葉芽は尖がり、花芽の先はピンク
5日後も前4日間雨のため寒く
花芽の変化はなし（23日の状況）



サトザクラの冬芽
オオシマザクラ系で冬芽に毛無し



ヤマザクラの冬芽



イヌザクラは展葉



カスミザクラの冬芽



西宮市オリジナルの
サクラ
「夙川舞桜」
右は冬芽





白梅と紅梅

今年の冬は記録的な寒さで、越冬芽で順次開花のウメの花やサザンカの花の開花が遅れ、越冬芽であるサクラなどは休眠打破が順調で、2月下旬以降の暖かさで開花が早まった。この結果サザンカ、ウメ、ツバキ、サクラなど多くの花が同時に観賞出来た。



サザンカ（ツバキ科）の花



ヤブツバキ（ツバキ科）



コバノミツバツツジ（ツツジ科）

一部のみ蕾膨らみ、5日後に数輪開花



モチツツジ（ツツジ科）

蕾、葉に腺毛ありニチャ付く



オオバヤシャブシ (カバノキ科)

雄花序は前年葉腋に無柄で付く
枝先から葉芽、雌花序、雄花序の順に



オオバヤシャブシ
果実と果穂



ヤシャブシ (カバノキ科)

枝先から雄花序、雌花序、葉芽の順



ヒメヤシャブシ (カバノキ科)

枝先から雄花序、雌花序、葉芽の順



ソシンロウバイ (ロウバイ科)
残り花



ロウバイ
残り花



アベマキ (ブナ科)

若い枝や幼木は順次開葉し、離層が形成されないので落葉しないで越冬



コナラの幹の断面：ドングリの仲間は
年輪と別に放射状組織の筋がある。
菊炭が出来る理由



ヒサカキ（サカキ科）雄花 花数が多い
甲山公園ではヒサカキが優勢種で増加



ヒサカキの雌花
周囲は独特の匂い（俗称 大阪ガス）



ピンク系のヒサカキ（サカキ科）



ショウジョウバカマ（シュロソウ科）



ムラサキシキブ（シソ科）
裸芽 若い葉が2枚向き合う



ハゼノキ（ウルシ科）
冬芽は鱗芽で短毛が密生



トサミズキ（マンサク科）花序の軸は毛が密生



タラノキ (ウコギ科)
葉痕は首飾り



ハリエンジュ (マメ科)
葉痕の奥に冬芽が隠れて、
左右に鋭い棘がある。



ゴンズイ (ミツバウツギ科)
仮頂芽



ハクモクレン (モクレン科)
開花時に晴天であれば、南側の
花被片の成長が大きく、蕾が北を向く



**コブシの開花始めと
5日後の開花**



タムシバ (別名 ニオイコブシ)
冬芽は長く、枝を噛むと芳香も良い



タムシバの外側鱗片葉を剥がすと、更に鱗片葉が現れた。(鱗片葉は、花が開いた後、取れてしまうことも、残っていることもあると記事がある。)



カゴノキ (クスノキ科)
成長すると幹の鹿の子模様が目立つ

クロモジ (クスノキ科)
甲山森林公園のコース
で5～6本 冬芽状態
から展葉開始のものを
確認





ヤマコウバシ（クスノキ科）
冬芽が開出



マルバヤナギ（ヤナギ科）別名アカメヤナギ
冬芽がらせん状に互生している。



ネコヤナギ（ヤナギ科）雄花花序



ヒイラギナンテン（メギ科）花序



アオハダ（モチノキ科）
短枝が発達、イボ状の皮目
が目立つ



ミツマタ（ジンチョウゲ科）



シナレンギョウ（モクセイ科）



トウカエデ（ムクロジ科）
対生の短枝が目につく



ヒメリュウキンカ（キンポウゲ科）



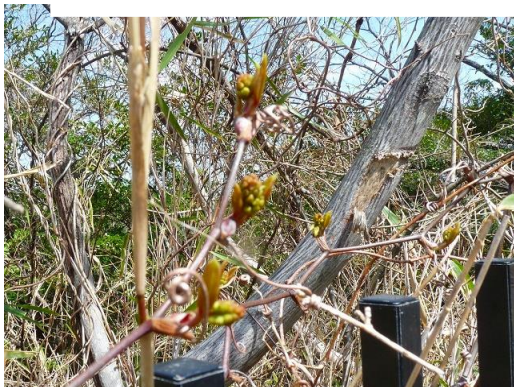
リュウキンカ（キンポウゲ科）
関西学院大学横の小河側で



アセビ（ツツジ科）の花



アケビ（アケビ科）の展葉



サルトリイバラ（サルトリイバラ科）
花と葉の混芽



アマツル？ サンカクツル？
（ブドウ科）の展葉



コガタスズメバチの巣？



武庫ネイチャークラブが「展葉フェノロジー」調査中
調査期間2月中旬～6月末